

弊社所属115系電車・S23編成について

—地域プロスポーツチームとの“縁”—

新型車両SR1系の運行開始に伴い、S23編成は2020年7月をもって営業運転を終えました。お客さまには、長きにわたりご利用いただきましたことを心より御礼申し上げます。

先日ご紹介したS6編成に引き続き、地域のプロスポーツクラブチームと所縁があり鉄道ファンのみならずサッカーファンにも親しまれた、S23編成の来歴を皆さまにも振り返っていただけますと幸いです。



S23編成 しなの鉄道色 外観



S23編成 長野色「AC長野パルセイロラッピング」
クラブエンブレムおよびロゴ



S23編成側面 長野色「AC長野パルセイロラッピング」

弊社所属115系電車・S23編成について



↑ S23編成 軽井沢方先頭車クモハ115-1037



↑ S23編成 篠ノ井方先頭車クモハ114-1509

上2点 撮影:加藤和毅氏 左下 撮影:JR東日本長野支社広報室



← S23編成とJR東日本長野総合車両センター所属訓練車 N15編成との並び (2017長野鉄道フェスタにて)

S23編成・プロフィールの特徴

- ・元は5両編成で製造され、切離したうちの中間車(運転台がない車両)2両は別途改造されS22編成として生まれ変わる。
- ・製造後ずっと長野県内を中心に活躍した生粋の「信州っ子」
- ・総走行期間は42年1ヶ月
- ・総走行距離は3,381,079km
(地球 約84周分)・・・2020年6月末時点
- ・弊社初のスポーツチームラッピングを纏った編成。

—地域のプロスポーツチームと共に—

弊社所属の115系電車S23編成は、1997年の開業当初から保有していた169系電車の老朽化による置き換えと、JR信越本線(篠ノ井～長野間)でのワンマン運転を可能にするため、JR東日本長野支社長野運転所に所属していた2両編成7本・計14両を2013年に導入しましたが、そのグループの内の一編成です。元々、S23編成は5両編成の中から先頭車と中間車(運転台のない車両)を捻出し運転台取付工事を施して作られた編成で、その編成内からは後にS22編成も作られており例えるならば「兄弟」のような編成、とも言えます。

そして2013年、弊社に転属後は塗色変更を経ず運用に就き、同年9月24日からは「AC長野パルセイロラッピング」列車として約1年近くにわたり、獅子をモチーフとした燦然と輝くクラブエンブレムをしなの鉄道沿線にて掲げ続けました。奇しくも2013年は、美濃部直彦監督(当時)の采配の元で日本フットボールリーグにおいてチーム初の優勝を決めたほか、第93回天皇杯での4回戦進出やJリーグ正式加盟とJ3参加が承認されるなど、AC長野パルセイロとしても実りの多い年であったことはサッカーファンのみならず沿線地域の皆さまの記憶にも新しいところでもあります。

— S 23編成の所属履歴 —

- 1978. 5.19 長野鉄道管理局松本運転所へ新製配置。
- 1987.12.16 クモハ114-1509、先頭車化改造工事を終えJR東日本長野工場を出場。
- 2000.12. 2 JR東日本長野支社長野運転所へ転属。
- 2013. 6. 1 しなの鉄道所属となる。

本広報資料の作成に当たっては、イカロス出版株式会社「季刊J-train」編集部および同誌の執筆や撮影で著名な前納浩一氏と加藤和毅氏ならびに東日本旅客鉄道株式会社長野支社広報室のご厚意とご協力を賜りました。この場を借りて御礼申し上げます。